

研究課題名

「保存期慢性腎臓病患者における MNA-SF による栄養スクリーニングの意義～後ろ向き調査～」

1. 研究の概要

慢性腎臓病（以下CKD）は日本国内で1330万人いると推測されており、8人に1人が該当する国民病のひとつです。CKDは、末期腎不全のリスクのみならず、腎臓病のない方と比べて狭心症や脳梗塞などの心血管合併症が3倍多いとも報告されています。またCKDの病態では、体内に酸化ストレスや尿毒素がたまり、筋肉合成がうまく進まないとも報告されています。加えてCKDの方は高齢者に多く、加齢にともない筋肉量の減少したサルコペニアの比率が高くなっています。CKDを完全に治す治療法は確立されておらず、進行阻止に対して生活習慣の改善とともに食事療法が重要となってきます。しかしながらCKDに対する食事療法はタンパク質や塩分制限が行われることが多く、高齢者では低栄養のリスクも高く、サルコペニア・フレイル（虚弱性）を悪化させる危険性もあります。そこで、CKDの方への適切な栄養評価を行う必要があり、今回我々は2022年4月以降に保存期CKDの教育プログラム入院をされた方を対象に、簡易的栄養評価ツールであるMNA-SF (Mini nutritional assessment short form) を用いて栄養評価を行うとともに、筋肉量や身体機能との関連性について後ろ向きに調査をさせていただきます。

2. 本研究で収集する診療情報

本研究では以下の情報を調査させていただき、研究で解析をするデータとして使用をさせていただきます。

年齢、性別、身長・体重、CKDの原因疾患などの疫学データや、日常診療に用いている検査データ（アルブミン、クレアチニン、ヘモグロビン、CRPなど）BIA法による体組成、筋肉量評価などカルテ内に保存されているデータです。

3. 研究参加

本研究は、侵襲及び介入を伴わず研究対象者から文書または口頭による同意は得ません。そのかわりに研究についての情報を公開（病院内に掲示又は病院ホームページへの掲載）し、研究が実施されることについて、研究対象者が拒否できる機会を十分に保障します。原則として、不同意の意思表示がない場合には同意があったとみなします。不同意の場合や同意を撤回する場合には、主治医にお申し出ください。なお、不同意の場合においても、診療に一切不利益を与えることはありません。

4. 研究に参加することによってもたらされると予想される利益と不利益

本研究に参加することによる研究対象者個人への直接的な利益は生じません。また、この研究の成果によって、特許権など知的財産権が発生した場合、その権利は、研究機関や研究遂行者等に属し、患者さん個人に属しません。しかし、研究の成果は慢性腎臓病に対する適切な栄養評価とともにサルコペニア対策において有益となる可能性があります。また、本研究は、通常の保険診療として行われる情報のみを扱うものであり、参加者への不利益、負担、リスクは増加しません。

5. 個人情報の保護について

情報は匿名化して取り扱われるので、個人情報が外部に漏れることはありません。またこれらの試料等を利用した医学研究によって得られた成果等が、学術集会や科学専門誌で発表される場合でも個人が特定されることはありません。収集されたデータは、匿名化して患者さんの個人情報が外部に漏れることがないように十分注意して管理致します。プライバシーの保護に細心の注意を払いますので、あなたの個人情報が公表されることもありません。

6. 研究に関するお問い合わせ連絡先

本研究に関する質問がございましたら、下記まで御連絡下さい。

研究代表者；金崎 葵

聖隷佐倉市民病院 栄養科

住所 〒285-8765 佐倉市江原台2-36-2